

**編集部** 滑稽俳句を始められたきっかけは？

**本 門** 友人に勧められたのが平成二十七年八月。友人曰く「松山市は全国的にみて認知症患者が少ない。それは俳句人口が多いからだそうだ」とのこと。認知症は切実な問題。早速、参加した句会で滑稽俳句を知り、これは面白いと思いました。

**編集部** 滑稽俳句の魅力とは？

**本 門** 笑いの少ない時世ですが、思わず自分の顔がほころび、楽しませてもらえるところですよ。

**編集部** 俳句における「滑稽」とは？

**本 門** 人間の営みや自然界の真実・機微を「あっ！そうだったんだ。なるほどなあ！」と発見・納得させてくれ、楽しみ、楽しませてくれるようなものではないかと思いません。

**編集部** 滑稽俳句を続けて良かった事は？

**本 門** 「毎日が日曜日」の生活で、一日の時間はたっぷりあります。この時間を埋めてくれるのが五七五の「つぶやき」です。いわば恋人ができたようなもの。嬉しかったり悩んだり（苦吟）という時間が持てることでしょうか。この時間がきっと頭を活性化してくれるものと思っています。

**編集部** 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

**本 門** うーん。これは難題。句歴一年生にとっては酷な問いではないでしょうか。結局、感性と俳句としての表現力の問題かと思えます。

#### 【代表句】

丑の日が厄日となりぬ鯰たち  
星祭欲の重さに笹撓む  
見る阿呆も結局連に加はりぬ  
吟行はつまり徘徊秋日和  
幾枚の諭吉が孫に敬老日